

◎ 市長（作野広昭君）

観光プラットフォームの考え方についてお答えをいたします。

議員御指摘のとおり、観光推進はそもそも民間主体であるべきで、行政の役割は後方支援であることに私も同感であります。本市における観光プラットフォームとは、広大な市域に分布するさまざまな観光素材を一元的に集約し、売れる旅行商品をつくり出し、旅行会社や旅行者に戦略的意図を持って発信する組織であります。去る9月10日には、組織の構築に先立ち、新しい観光ホームページの運用開始とともに、イベントチラシの配布を行ったところであります。

発信している内容は、従来の祭りやイベントはもとより、旅行商品として位置づけする約30件の体験型の感得プログラムを含んでおります。組織の構築に向けては、本市におけるプラットフォームを、仮称であります。白山市観光連盟と名づけ、市内商工会議所等の経済団体や観光物産協会、観光ボランティアガイド協会などと、白山市観光連盟の活動や役割についての協議を開始いたしましたところであります。

議員お尋ねのプラットフォームについての具体的な事柄については、今後、準備委員会で協議がなされ、順次構築されていくものであります。市としましては、新しい組織の運営を支援するために、人材、経費の両面でできる限りの支援をしてまいりたいと考えております。